



東陽の旋風^{かぜ} ～自律協働貢献～

令和7年3月6日（木）No 44 発行
文責：松本 卓也

卒業までのカウントダウン・・・

卒業までのカウントダウン、いよいよ明日でお別れです。本日行った修了式では、この3年間で頑張ったことや成長したこと、これから伸ばしてほしいことを一人一人に伝えました。さらに、昨日、1年時担任だったN先生が南関町から会いに来てくれたこと、地域のF様が3年生のために啓翁桜を届けに来てくれたことを挙げ、人の想いに向き合い、人を想うことの尊さと、その想いは人に必ず届くことを伝えました。



生徒発表では、代表のYさんがこれまでの思いと未来への希望を、以下のように述べてくれました。

私が3年間頑張ってきたことは、委員会活動です。私は中学三年生時の体育委員長を務めさせていただきました。そこでポスター制作や年間計画を立てているときなどに、パソコンを活用してきました。もっとスキルを磨くと効率よく作業ができると思いました。そのため、私は熊本県立八代東高等学校情報ネットワーク科に進学します。そこでは、パソコンスキルに加え、セキュリティの関する知識や技術について充実した学習ができます。私は、高校でもこの気持ちで学習していきたいと思います。

また、私は中学2年時から2年間、東陽町の石橋や石工の魅力を伝えるボランティアガイドをさせていただきました。その中でコミュニケーション能力を身につけることができました。人と接する上で大切なスキルなので、活動してきてよかったと思います。

これらの力を生かして、私は将来、人に寄り添うメディカルトレーナーを目指しています。トレーニングメニューや健康状態を情報端末で管理し、適切なサポートにつなげたいと思います。私はメディカルトレーナーになって、自分の店を持つとともに、身につけた情報スキルを活用したいと思っています。特にSNS等も上手に活用し、若い世代の方々が興味を持ってくれるように頑張ります。

1・2年の皆さん、1・2年生のおかげで私たちは最高学年としての自覚をもち、頑張ることができました。これからの日々の中には、楽しいことも困難なことも、多くの事が待ち受けていますが、何事にも挑戦してください。応援しています。3年間、ありがとうございました。

「こんなに大きくなって・・・」入学してから1年間を共に過ごしてきたN先生の言葉です。3年生は、中学校3年間、さまざまな場面で「自律・協働・貢献」を具現化し、現在の「伸びゆく東陽中」を創ってくれました。お別れするのはとても寂しいですが、旅立ちの時をみんなで祝い、感動を共有したいと思います。**“Congratulations on your graduation!”**



貴重なガイド体験ができました！ ～ガメとめぐる、日本遺産の旅～

2日（日）、東陽まちづくり協議会主催の「自然散策と地域の宝探し」のイベントでボランティアガイドを行いました。今回のガイドは、街歩き音声ガイド（Locatone）のテストマーケティングも兼ねています。ガイド前にQRコードを読み取り、いざ出発！！道の駅東陽を出発し、8カ所の文化遺産を巡るコースを、道中は街歩き音声ガイドを聞きながら、各スポットでは中学生がガイドを行いました。現実世界に仮想世界の音が混ざりあう、新感覚の音響体験に私も驚かされました。子どもたちからは、「物語が面白かった」「次に行く場所を音声ガイドで教えてくれるところがよかった」との感想がある一方、「毎回話が長い」「全部言ってくれるから中学生がいる意味があまりなかった」等の課題も感じていました。今後、互いの長所を生かせるよう、役割を明確にしながら文化遺産を発信していきたいと思っています。



※ご意見や感想をお待ちしています。「見ました」の一言でも構いません。

保護者名（ ）